

2015年11月12日

各位

会社名 株式会社アサツ ディ・ケイ
代表者名 代表取締役社長 植野 伸一
(東証第一部 コード番号:9747)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション局長 中島 香
Tel 03-6830-3855

執行役員人事および機構改革に関するお知らせ

株式会社アサツ ディ・ケイは、2016年1月1日付をもって、下記の通り執行役員人事および機構改革を行いますので、お知らせします。

記

1. 執行役員の異動

<新任>

執行役員 ADK グローバルセクター統括 ロブ・シャーロック

(現: ADK ワールドワイド・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

執行役員 国内基幹事業セクター第3 アカウント・マネジメントセンター統括 佐藤 尚樹

(現: 統合ソリューションセンターアクティベーション・マネジメント本部長)

執行役員 国内基幹事業セクター第4 アカウント・マネジメントセンター統括 寺田 孝志

(現: アカウント・マネジメントセンター第3 営業本部長兼第3 営業本部第1 営業局長兼第3 営業局長)

執行役員 国内基幹事業セクター統合ソリューションセンター統括 久野 哲也

(現: 統合ソリューションセンターコミュニケーション・アーキテクト本部長)

執行役員 メディア & データインサイトセクターデジタル & データインサイトセンター統括 沼田 洋一

(現: デジタル & データインサイトセンター)

<セクター統括・センター統括>

取締役執行役員 コンテンツ・ビジネスセクター統括 大芝 賢二

(現: 取締役執行役員 コンテンツ・ビジネスセンター統括)

専務執行役員 エンタテインメント & スポーツマーケティングセクター統括 久松 茂治

(現: 専務執行役員 アカウント・マネジメントセンター統括)

執行役員 国内基幹事業セクター統括 植村 好貴

(現:執行役員 アカウント・マネジメントセンター担当役員)

執行役員 メディア&データインサイトセクター統括 亀井 典明

(現:執行役員 デジタル&データインサイトセンター統括)

執行役員 ADK グローバルセクター統括代行兼 ADK グローバル東京統括 中里 宏

(現:執行役員 統合ソリューションセンター統括)

執行役員 国内基幹事業セクター第1 アカウント・マネジメントセンター統括 土屋 誠

(現:執行役員 アカウント・マネジメントセンター担当役員)

執行役員 国内基幹事業セクター第2 アカウント・マネジメントセンター統括 加藤 隆夫

(現:執行役員 アカウント・マネジメントセンター担当役員)

執行役員 ADK グローバルセクターADK グローバルアジア統括 大森 健一郎

(現:執行役員 海外事業統括センター統括)

執行役員 メディア&データインサイトセクターメディア・ビジネスセンター統括 阿部 正敏

(現:執行役員 メディア・ビジネスセンター統括)

2. センター統括の異動

国内基幹事業セクター国内ネットワークセンター統括 菅井 浩一

(現:アカウント・マネジメントセンター東日本ネットワーク本部長兼北海道支社長兼新潟支社長)

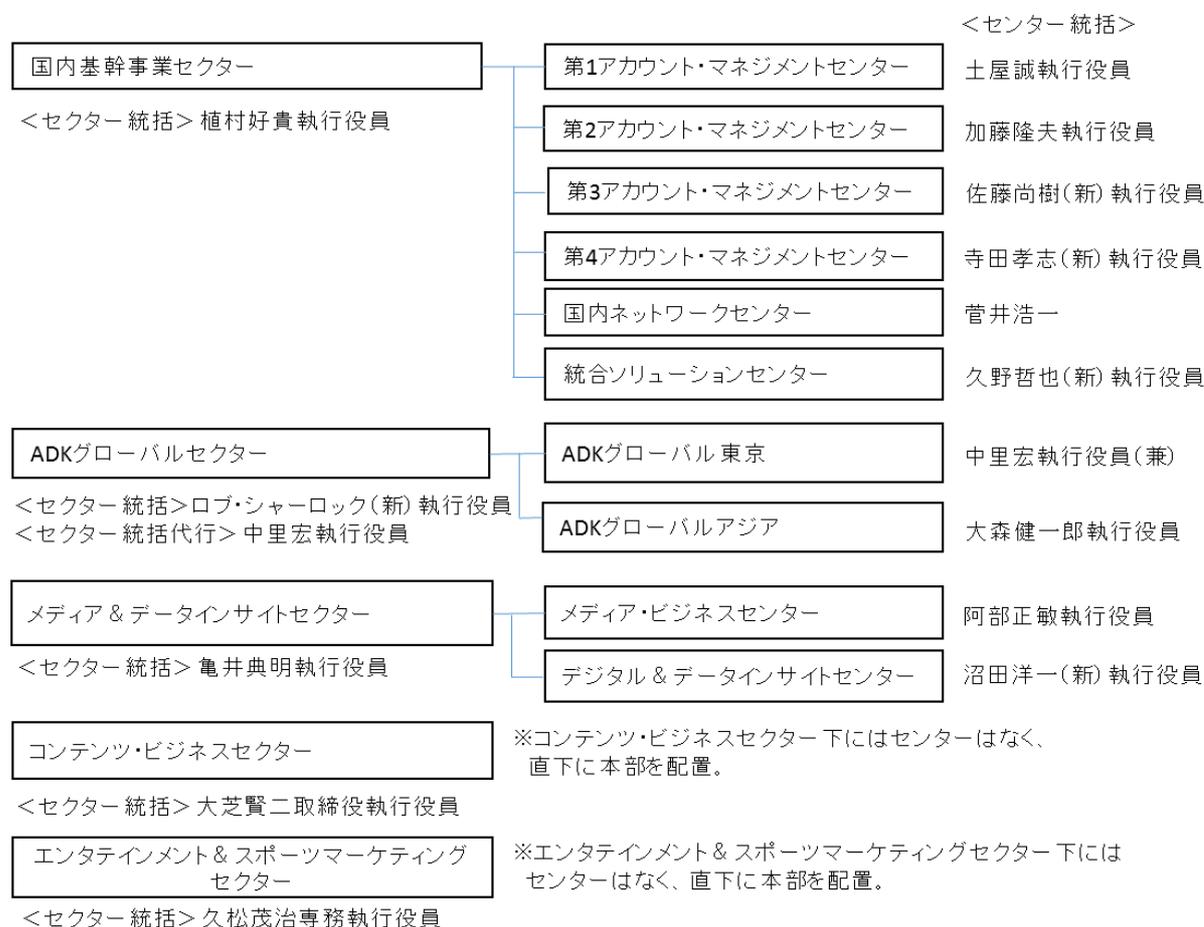
3. 機構改革について

<機構改革>

- ① 「国内基幹事業セクター」、「ADK グローバルセクター」、「メディア&データインサイトセクター」、「コンテンツ・ビジネスセクター」、「エンタテインメント&スポーツマーケティングセクター」を新設し、各セクターの下にセンターを再編する。
- ② アカウント・マネジメントセンターを第1~第4 アカウント・マネジメントセンター及び国内ネットワークセンターに再編し、「国内基幹事業セクター」下に置く。
- ③ 統合ソリューションセンターを「国内基幹事業セクター」下に置く。
- ④ 海外事業統括センターを「ADK グローバル東京」と「ADK グローバルアジア」に再編し、「ADK グローバルセクター」下に置く。
- ⑤ メディア・ビジネスセンターを「メディア&データインサイトセクター」下に置く。
- ⑥ デジタル&データインサイトセンターを「メディア&データインサイトセクター」下に置く。
- ⑦ コンテンツ・ビジネスセンターを廃する。

⑧ ファイナンスセンターを「ファイナンス&プロセスマネジメントセンター」に改称する。

(参考 セクター・センター組織図 2016年1月1日以降)



※コーポレートセンター、ファイナンス&プロセスマネジメントセンターは、セクターには属さず、担当役員直下になります。

＜機構改革のねらい＞

VISION2020 で示した「コンシューマー・アクティベーション・カンパニー」への変革に向け、成長領域・注力領域とする事業別にセクターを設け、組織を再編する。

当社は、2013年に発表いたしました VISION2020 の中で、2020年までに、消費者を動かす「コンシューマー・アクティベーション・カンパニー」へと変革を遂げることを宣言いたしました。従来のマスメディアを中心とした消費者にメッセージを伝えるビジネスの形に留まらず、データに基づくインサイトで消費者の行動を喚起し、クライアントのビジネス成果を実現するソリューションを提供する企業グループを目指します。

また、2016年までを変革のための基盤構築・構造改革期と位置づける中期経営計画を策定し、これを推進しておりますが、その最終年度となる来期からは、いよいよ本格的な組織改編を行い、変革をさらに加速させてまいります。

具体的には、当社の成長/注力領域となる事業を、「国内基幹事業」を中核に、「ADK グローバル」、「メディア & データインサイト」、「コンテンツ・ビジネス」「エンタテインメント&スポーツマーケティング」の5つのセクターに再編します。それぞれ担当役員を定め、グループ会社も含めたバリューチェーンを構成し、責任を持って成長戦略を推進すると同時に、セクターごとのプロフィットマネジメントを徹底してまいります。

グローバル領域におきましては、海外ビジネスの拡大にむけ、特に大胆な改革を行います。これまでのように、日本での広告ビジネスを海外でも同様に行うのではなく、組織・人材・マネジメントから、グローバルなビジネスに対応した体制を敷きます。「ADK グローバル」は、セクターオフィスをシンガポールに置き、現在 ADK のワールドワイド・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクターであるロブ・シャーロックが、執行役員に就任し、統括いたします。同セクター下には、日本における外資系クライアント業務と欧米における業務を行う「ADK グローバル東京」と、中国・アジアにおける業務を行う「ADK グローバルアジア」を置き、多国籍ネットワーク・エージェンシーを目指してまいります。

以上